

BC-PIV ベクターを用いた RS ウイルスワクチンのマウス

試験において高い中和抗体誘導確認に関するお知らせ

当社が開発を進めております BC-PIV・VLP/BC-PIV ベクターを用いた RS ウイルスワクチンのマウス試験において、経鼻投与によりの RS ウイルスに対する強い中和抗体の誘導が認められましたのでお知らせ致します。これにより BC-PIV・VLP/BC-PIV ベクターを利用した経鼻投与型 RS ウイルスワクチンの可能性が示されました。

当該マウス試験は、ドイツのフランホーファー細胞療法・免疫学研究所 IZI (Fraunhofer IZI, Leipzig) にて実施されたものです。

なお、当社では BC-PIV 技術を用いた SARS-CoV-2 ワクチンの開発を三重大学およびメディシノバ株式会社と共同で進めております。

バイオコモについて

会社名：バイオコモ株式会社

代表取締役：福村 正之

所在地：三重県三重郡菰野町菰野 1 3 2 5

URL: <http://biocomo.jp/>

BC-PIV・VLP/BC-PIV について

BC-PIV：立体構造を維持した大型抗原タンパク質及び遺伝子を同時に運搬することができるベクター技術

(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31501502>)

VLP/BC-PIV：BC-PIV をバイオコモ独自の技術またはフランホーファー研究機構の LEEI 技術により不活化したベクター 特徴はゲノムのみ不活化されタンパク質の抗原性及び機能は維持される

フランホーファー研究機構細胞療法・免疫学研究所 (Fraunhofer IZI) について

フランホーファー研究機構 (独: Fraunhofer-Gesellschaft) は、ドイツ全土に 74 の研究所・研究ユニットを持つ欧州最大の応用研究機関 フランホーファー IZI は、医薬、ライフサイエンス領域の研究開発を実施する研究機関である

RS ウイルス感染症について

RS ウイルス (Respiratory syncytial virus) は呼吸器感染症を引き起こします。生後生後 7 - 8 ヶ月以内の乳児や未熟児、循環器系の疾患を有する幼児では重症化しやすく、呼吸機能の弱い老人や慢性肺疾患患者、免疫不全患者においても重症化する傾向があります。1960 年代から開発が続けられておりますが、RSV ワクチンに用いる抗原の構造脆弱性が起因となり、未だに市販化されたワクチンはなく、高いワクチンニーズ及び市場性から、激しい開発競争が繰り広げられております。

バイオコモは、新規ワクチンの開発により既存のワクチンが存在しない感染症の撲滅や治療薬の開発によりがん患者を救うことで福祉に貢献することを目指しております。

三重大学医学部の野阪哲哉教授と共同で開発した安全性の高い BC-PIV・VLP/BC-PIV 技術を用いて、SARS-CoV-2 ウイルス、RS ウイルス、エボラウイルス、T 細胞の活性化により難治性固形がんを治療する抗腫瘍免疫活性化剤の開発に取り組んでおります。

お問い合わせ先 : info@biocomo.jp